

タッチカウンセラー養成講座 受講生募集

NPO法人 日本タッチカウンセリング協会では、養成講座の受講生を募集しております。子育て中のお母さんや家族の介護をされているお母さんに、タッチカウンセリングを教える事で、子供の成長促進や家族の健康促進、そして何より疲れた心を癒してあげることができる。それがタッチカウンセラーです。子育て支援・介護支援・カウンセリングに興味をお持ちの方、メールまたは電話にてお気軽にお問い合わせください。

NPO法人 日本タッチカウンセリング協会 正会員&賛助会員募集

当協会の活動に賛同して、一緒にタッチカウンセリング普及や、子育て支援・介護支援の活動に参加したいと思われる方は、是非正会員としてご入会ください。また忙しくて活動にはなかなか参加できないけれど、何かの形で参加したいと言う方は、賛助会員としてご入会ください。

- 正会員…入会金：10000円 年会費：10000円
●賛助会員…入会金：無料 年会費：5000円(団体：1口 20000円)

会員の皆さんへ

■総会でも皆さんにお願いしていますが、ご住所・お名前・連絡先に変更があった場合は、忘れずに協会事務局へのご連絡をお願いいたします。特に携帯の番号やメールアドレスの変更連絡は、速やかにお願いします。

事務局アドレス： a.hirata@tca-wings.com ※メールには必ず期とフルネームをお願いします

お知らせ

出口理事長講師のセミナー兼TCR実習勉強会のお知らせ

●9月8日(火) 9:30~11:30 健康幼稚園保護者向けセミナー 「楽チン子育てしてみませんか？」(西宮、浜甲子園)

●9月30日(水) 10:00~12:00 宝塚青少年センター 「子どもの心を理解する」講座(宝塚市)

両セミナーについてのお問い合わせは touch.your.heart.429@softbank.ne.jp(出口)まで

※実習勉強会の詳細、申込み方法については改めて連絡網でご案内します。

編集後記

今号特集はいつも裏方に回っている世話役さん達の紹介でした。私自身もお前はよく見かけるんだけど、とか、イベントの時にちらっとご挨拶させていただいたような...という方が多く、今回原稿をいただいで、フムフム、あ~あの方、と改めて顔と名前を一致させた次第です(汗)なお、それぞれの担当さんに連絡を取られる際は、総会でお配りしている資料の最終ページに各連絡先が記載されていますので、そちらをご覧くださいね!

(協会広報 後藤洋子)

協会活動報告

姫路市ファミリーサポートセンター会員講習会 タッチカウンセラー実習勉強会

演題・「あなたはあなたのままでいい~タッチカウンセリングで心をほぐす~」
日時・平成27年6月17日(水)
場所・姫路市すこやかセンター

ファミリーサポートセンターは、ご近所同士の預かり合いを制度化したボランティア的な子育て支援です。子どもを預かってほしい希望がある依頼会員は、忙しさや子育てに関して大変さや不安を抱えている方が多く、サポートを行う提供会員は、「誰かの為に何かをしてあげたい」という方が多いのが現状です。そんな会員の皆さんに、ホッとしたりあたたかい気持ちになってもらいたく、また、ご自身を大切に感じていただく時間を持つてほしくてこの講習会を企画しました。

参加者は募集人数を上回る人数でした。それだけ、自己肯定感やメンタルケアに対する意識が高まっているのだと実感しました。

講演は、「考えるより感じよう」の、のご先生の言葉ではじまりました。赤裸々に語られるの先生の半生、人を癒すあたたかな言葉、タッチケアの実習、隣に座った初対面の人との振り返り・傾聴を、会場の参加者全員で深く感じ合いました。涙する人、優しい笑顔で「来てよかった」と話して下さる人、中にはタッチのレッスンを希望される方もいらっしゃいました。

講習会にいらっしゃる会員の皆さんは、本当に意識の高い方が多いです。感性が豊かというか、心が柔軟というか...。毎回お会いする度に学びをいただいています。そんな会員の方々に、私がタッチと出会う衝撃を受けた(笑)、心がゆるむ感じ、ありのままの私を大切にしたいという感じ、早く帰って家族や友達を癒したい!という感じを感じてほしかったんです。

閉会の挨拶をさせていただいたとき、不意に涙が出ました。講演会で司会者が泣いてしまい、失敗した!!と顔を上げた時、参加者みなさんも、上司も同僚も、みんな笑顔でいてくれたのです。ああ~、あたたかいな...と。これがタッチカウンセリングの力なのかな...と。とても幸いで、感謝でいっぱいになりました。

優しい時間をありがとうございました。(18期 上田瞳)

E-CHICOS

気負うことなく、子どもたちが自発的に楽しいと思う気持ちをできる限り引き出す英会話教室を目指して、5月から始まったE-CHICOSも気がつけば3ヶ月を過ぎました。

チコスの服部緑地教室で月曜日、3時過ぎから"Hello, how are you?"と、始まります。チコスで歌われていた始まりの歌と終わりの歌をそのまま英語に訳して、チコスの卒会生のE-CHICOSの子にとっては、馴染みのメロディーでみんな元気に歌います。

えがお、初日は私も子どもたちも口の端っこが少し引きつった緊張したものでした。3ヶ月経ち、それぞれにお気に入りのダンスや、逆にあんまりノリきれない歌なども出てきて、表情や態度、いろんな形で自分の思いを表わしてくれるのを感じる事に、とてもうれしく、幸せを感じています。

まだまだこれからいろいろ壁にぶつかると思いますが、英語でこんな遊びあったよ、とかこんな事ができたら面白いんじゃない?など、たくさんの情報をお待ちしています。

皆さんに助けをいただきながら、細く長くE-CHICOSを盛り上げていきたいと思っています。(2期 中森理加)

アトリエ虹の子

今年度からリニューアルして始まりました。名前もアトリエ虹の子になり、お月謝制で月二回行っています。講師は今まで通り堀向勇希先生です。

勇希先生は外部の方ですが「タッチカウンセリングマインド」を持ち合わせた方で、存在感はすごくあるのに主張せず、寄り添ってくれ、でもってご自身の考えや感覚はとても大事に持たれている素敵なお父さん?いや、お兄さんです。

現在7名の虹の子ちゃんたちが来て来てくれています。この虹の子ちゃんたちはチコスを卒業した子や現在チコスにいる子たちが主ですが、チコスとは違う一面からみることができたり、引き続き成長を確認できることが嬉しいです。ここで自由に思うまま表現して、その表現を勇希さんに受け止めて、認めてもらえることって今の時期の子どもたちにとってとても大事な事だと思います。何かができるようにとか上手になるとか目に見えてすぐ結果がでるわけじゃないけれど、ここでの積み重ねが心の土台を作り、自分で考える力を育むのだらうなと感じています。

まだ虹の子ちゃんを募集していますので、よければ体験参加から遊びに来ててくださいね。(8期 牧野美由紀)



応募人数を大幅に上回る50人強の参加者でした!



NPO法人 日本タッチカウンセリング協会

vol. 16 Aug.2015

TOUCH YOUR HEART

CONTENTS

今号の特集
協会世話役紹介 2
養成講座受講者紹介 2
チコスを卒会して 3
のこちゃんのつぶやき 3
協会活動報告 4
事務局からのお知らせ 4

チコス・バンビーノ関連で 新しいニュースが続々と!

ご存知の様に昨年度から2号園の緑地クラスが始まったチコス。本年度からはまた新たに英会話教室「E-CHICOS」がスタートし、不定期クラスだったアトリエゆうきが、定期クラス「アトリエ虹の子」に生まれ変わりました。(4ページの協会活動報告をご覧ください)
そして来年度から念願だったチコス週4回コースが始まります!
チコス・バンビーノにとって大切な年になるであろう、今年度&来年度。協会会員の皆さんにもご協力頂き、盛り上げて行きたいと思っています。
チコス・バンビーノへのお問い合わせ、実習勉強会への参加申込・ご質問等は宮部くまきちゃん>園長まで!



発行元 NPO法人 日本タッチカウンセリング協会

663-8177 兵庫県西宮市甲子園七番町17-16-103
tel: 0798-44-1026
fax: 0798-20-2809
url: http://www.touchcounseling.net/
email: seikyu@touchcounseling.net



E-Chicos Ryokuchi-Class

協会 世話役紹介

日頃タッチカウンセリング協会の運営に協力してもらっている、縁の下の力持ちの皆さんの紹介です。
普段メールでやり取りをしているあの人、お知らせなどでよく名前を見るあの人、メンバー全員、協会運営を円滑に行うため日々奮闘しています！！

チコス・バンビーノ園長/インストラクター 宮部牧子くまきちゃん

チコス・バンビーノも協会の理念をよりたくさん盛り込んだものになって5年目になりました。協会のタッチカウンセラーのレベルが上がるとともに、チコス・バンビーノもより特色が濃く打ち出されています。ぜひ、実習勉強会に来て下さいね。

資格更新については、資格を取って3年経つと、もろっちさんから更新講習会案内の連絡があります。その講習会の担当がワタクシです♡怖くありませんよ～(笑)

個別勉強会もご自身に合った利用の仕方をしてもらえたらと思います。何かあれば相談してくださいね。



アトリエ虹の子担当/プレインストラクター 牧野美由紀くみるきい



堀向勇希先生は、のこ先生のお友達で、最初は我が子に行かせたい！と個人的に開いてもらっていたのですが、だんだん本格的な教室になってきました。今年度の募集からは本当に続けて行きたいと思ってくれたお子さん達が来てくれています。

楽しく自由な作品に触れ、私もパワーをもらいます！是非一度、遊びに来て下さいね～！

研修生勉強会担当/プレインストラクター 糟谷由加

<キャサリン>



連絡係ってちょっと小学校時代にタイムトリップしたよう。期をまたいで連絡係は隣のクラスを覗いてるようでオモシロイ!!

返信も様々で個性がでてきます。私のチームは一番手の返信がめっちゃ速い。これもオモシロイひとつ。気分がイマイチな時にひょこっと入ってくる協会メールに癒されてもいます。フツツカモノの私ですが、これからも…連絡係としてスマホを操って行きたいと思います。未長くよろしくお願いします。

連絡網担当/プレインストラクター 村尾雅美くまーちゃん



4月からの勉強会などのお知らせが届いていない方はいらっしやいませんか？
もっと早く連絡が欲しい、文章が分かりにくいなどありましたらご一報下さい。
また、連絡網を受信した旨を各連絡係さんに返信して下さい。皆さんお忙しいと思いますが、漏れがないようにする為にもよろしくお願致します。

協会事務局（非会員） 平田文子くもろっち

事務全般を担当をしています。みなさんとはメールでのやり取りが主で、あまりお会いする機会はありませんが、何でも気軽に聞いていただき、スムーズな協会運営の手助けになればと思います。



協会理事長 出口のりこ

<のこちゃん>

みなさんがご存知の通り、勉強会や講演会の講師、SVやカウンセリング、等の業務の他に、勉強会や養成講座の会場予約のような雑務を含めて地味な細かい仕事がいつもたくさん溜まっていて、期限を守れずみなに怒られてます。。。(-_-)

外部に対するタッチカウンセリングの紹介、新しい提携先の開拓、顧問の先生方との窓口、事務方の管理、新規事業の立ち上げ、HPやチラシなど広報関連も私の仕事ですが、協会の運営に携わってくださる方が育ち、人数も増えてきたことで、私がだんだん協会全体を見渡せる状況になってきたことがとても助かっています。
会員数が増えてくると、「ルールを作って、それに機械的に従ってもらう」というやり方の方が効率も良くて楽なのですが、協会の理念として「できるだけ1人1人の状況に合わせて、共に解決方法を考える」姿勢を保っていきたくので、担当者も私もその為の手間と時間を惜しまないよう心掛けています。
何か相談したいことがあったら、まずは協会に問い合わせみて下さいね。今後ともみなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたしません。

養成講座受講者紹介 大阪19期生

養成講座19期生の新しい仲間です。よろしくお願致します！

心がザワザワした時に自分と向き合いながら、感じた事や気づいた事を素直に表現する姿がとても輝いていました。

- 後列左から： 玉江衣央、西中あかね、
- 前列左から： 戸田良子、清水益代
- 写真なし： 片岡章江、南実希、渡邊忍

(計7名・敬称略)



チコスを卒会して

昨年度、チコスを卒会后、19期養成講座を受講して
タッチカウンセラーになったよっちゃんが続ってくれました♡

チコスに通い始めたきっかけは、友人の紹介でした。息子は幼稚園の年少さんにあたる年で、幼稚園に行かせなさいいけないんじゃないかとは思いつつながら引越しもありどこの幼稚園がいいのか、と悩んでいた私に、その幼なじみの友人が、それなら自然の中で遊べる幼児教室に子どもを通わせているから、あなたも行ってみる？と声をかけてくれたのです。分かっていたことは、自然の中で遊ぶってことだけだったし、週1だったし、どうなのかなーという気持ちも少しはありながら通い始めました。

うちの息子は、当時とっても人見知りで警戒心が強くて、ママの私にべったりだし、子どもが多い児童館のような場所は行くだけでも帰りたいと泣いて泣いて遊べないし、一時週3で通っていた保育園も毎日毎日号泣するし、公園でも他に遊んでいる子がいると嫌がったりしていました。当時の私はそんな息子に不安と、苛立ちと、私自身が上手に促せないからではないか、コミュニケーションが下手だからではないか、といった自責の念のような気持ちもあり、とっても複雑な気持ちでいました。人見知りでもいい

けどもっと短時間で慣れてお友達と楽しそうに遊んでよ～、泣いてばかりでこっちゃんが泣きたいし腹立つから泣かないでよ、そう思っていました。

初めてのチコスの日、息子が私を気にしながらでも楽しそうに遊び始めたことに驚きました。「行っていい？」と聞いて、棒を持ってみたり池に近づいてみたり。自然の中で開放感があるからか、スタッフさん達の雰囲気のおかげなのか。

通い始めて最初のうちは、お母さん子どもも慣れるまで一緒にいて、少しずつ離れていけるようになっていくおかげで、馴染みやすかったと思います。

それでも、やっぱり私とバイバイするってなると泣くようになり、困ったなーなんて泣くかなー、と思っている私にスタッフさん達は、「泣いて嫌だっって言えるんだもん、えらいよー！」って言ってくれて、本当に目から鱗でした。そうだよなー、まだ3歳の子どもが泣いて嫌だっって言ってるって、大事なんだな、悪いことなんかじゃないんだな、と気付きました。

更に、チコスでは月に1回チコスママがあります。そこで、あなたはあな

たのまま、私は私のままでいいんだよ、というチコスの考え方を知り、それまで私は私のままでいいという考えがなかった私にとって、それもまた目から鱗でした。

このままの私でいいんだ、息子はこのままの息子でいいんだ、と思えたら、本当に全部がとつても楽になって、子どもへの接し方も神経質に考えず楽になっていきました。

そのうち、息子も自然と泣かなくなり、表情が豊かになっていきました。年齢的な成長もあるでしょうが、実際、「僕はね、僕の好きなことを好きなようにしたいんだよ」と言い、のびのびしているなーと感じられるようになりました！

自然の中で、ありのままを受け入れて下さるスタッフさん達に囲まれ見守られていたことで、心も体もとっても伸びやかに遊び、成長出来たんだなーと実感します。本当にチコスに通えて良かった！と心から思います。

(19期 戸田良子 <芦屋チコスママ>)

のこちゃんのつぶやき

育児に答えを求めてしまうこと

日本タッチカウンセリング協会 理事長 出口のりこ

最近、TVや雑誌などで「子どもの教育法」や「しつけ」について、専門家がノウハウを語っているのをよく目にします。ニーズがあるということは、それだけ育児は難しく、みんなが「どうすればいいんだらう？」と悩んでいるということなのでしょう。私の元にも育児カウンセリングに来られるお母様が増えていきます。母が私を育てていた時代には、育児について相談する窓口や、育児についてのノウハウを紹介する記事やTV番組などはなかったことと思います。母は日本で核家族化が始まった最初の世代なので、自分だけで育児をしていたのですが、それまではおばあちゃんやおばさんなど育児の先輩女性が周りにいてくれて、育児のお手本を見せてくれたり教えてくれたり、一緒に育児に参加してくれる環境だったからでしょう。

では、今の「情報が溢れかえる環境」は育児にとっては助けになっているのでしょうか？
情報は確かに役立つこともありますが、間違った情報であれば余計に悪い状況に陥る可能性もありますし、たくさんの情報がそれぞれ別の主張をすると、どれが正しいのか迷ってしまい、余計に親御さんが迷走してしまうということもあります。

私がTVや雑誌などで伝えている「ノウハウ」の中で気になることは、「子どもが…で困っています、どうすればいいのでしょうか？」という育児の悩みに対して「それは、こうしてこうすれば解決します。」「こんな風に育てばうまくいきます。」と答えを出してしまうことです。企画の都合

上、悩みに対して答えを出さないと成立しないのですが、それを見た全国の親御さん達が「育児には、正しい答えがあるものだ」「ノウハウがわかればうまく育児ができる」と思いこんでしまうことが一番心配になってきます。困っている時に「これが答えです」と示されれば、それほど助かることはないですが、そこですべてしまいたくなるのも仕方ないことです。

私がしている育児カウンセリングでは、クライアントの悩みを聞いて、一発で答えを出したりはしません。そこが「相談」と「カウンセリング」の決定的な違いとも言えます。なぜ一発で答えを出さないかと言うと、こういう分野についてはいくら専門家であったとしても決定的な答えを持っているわけではないからです。子どもの個性、親御さんの個性、これまでの経緯、現在の状況などによって、このケースをどう対処すれば一番良いのかは違ってきます。それらをクライアントのわかっている範囲で聞き取り、「まずはこんな風にやってみましょうか」ということを共に考え、その方法でやってみて子どもがどんな風に反応したかをまた聞き取り、だんだんベターな解決法に近づいていく、その間に親も子ども成長していくことでまた解決に向かう、時には最初に予想もしなかった方向で解決していく…というように、育児とはそれぞれそのものが「生き物」で、成長し形を変えていく流動的なものなのです。そして、最終的に親御さんが得るものは、今回悩んでいたことに対する確かな答えではなく、今後も育児をしていく上で自分自身が見据えていくべき方向性や、自分なりの育児のポリ

シー、自身の人としての成長なのではないでしょうか。

なので、その最中にある親御さんにとっては辛いことではありますが、悩み苦しみを考えることこそが、本人がこれからの道筋を立てていける力をつける為に必要なことなのだとは私は思っています。マニュアルを教えるのではなく、親御さんの成長を支援させていたがります。

だから私にとって、「育児について悩みはありません」と仰るお母様よりも、「悩みだらけです」と仰るお母様の方が、母として人間として成長していく伸びしろを持っていらっしゃる、安心して見ていただける方なのです。

